

航空機用先進システム基盤技術開発事業

製造産業局 航空機武器宇宙産業課
03-3501-1692

平成31年度予算額 2.8億円 (3.4億円)

事業の内容

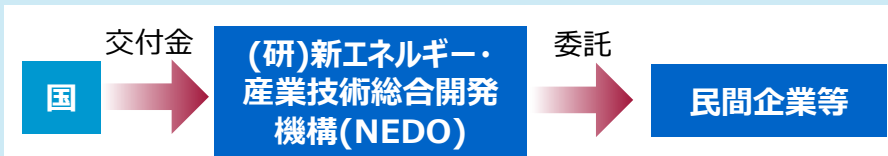
事業目的・概要

- 2030年までに2倍になるとされている世界の航空機需要を取り込み、我が国航空機産業の長期的な産業規模の維持・成長を実現するためには、航空機の価値の半分近くを占めている航空機システム分野への参入が不可欠です。
- 一方で、現状において我が国の装備品産業は、防衛向けや民間向けの一部にしか参入できておらず、新規参入のための鍵となる技術を持つことが必要です。
- 本事業では、次世代航空機をリードするような、低コスト化、安全性向上等に寄与する先進技術を開発することで、グローバルな成長を取り込み、我が国航空機産業の更なる競争力強化を図ります。

成果目標

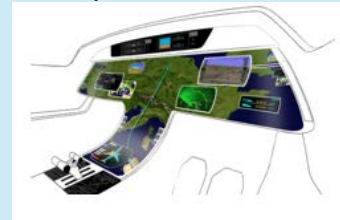
- 平成27年から平成31年の事業であり、要素技術を確立させ、平成42年度において次世代航空機における各研究開発項目の市場シェア30%を目指します。

条件 (対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

<コックピットディスプレイシステム>
航路選択に係る意思決定の効率化を図るため、タッチパネル式のフル画面コックピットディスプレイに関する技術開発を実施。



<次世代降着システム>
油圧配管の削減による機体重量削減を図るため、新たな電動脚揚降システムに関する技術開発を実施。

